

# 令和2年度 障害者スポーツ推進プロジェクト（スポーツ庁委託事業）

## 高知県

これまでの取組の成果を活かしつつ、地元の関係者の連携強化に必要な人材の協力を求め、障害当事者以外も巻き込んだ取組を実施することにより、障害者スポーツの活動を継続的に提供・充実させるための基盤づくりを目的として展開する。

委託

実行委員会

高知県  
社会福祉協議会

中村特別支援学校

県立障害者スポーツセンター

幡多陸上競技協会

地域の福祉施設

山田特別支援学校  
田野分校

↑協力

NPO法人  
まほろばクラブ南国

山田特別支援学校

競技団体等

NPO法人こうなんスポーツクラブ

市町村社協

↑協力

NPO法人  
クラブとさ

日高特別支援学校

高知若草特別支援学校

地域の福祉施設

市町村社協

↑協力

NPO法人  
くぼかわスポーツクラブ

地域の福祉施設

町のボランティア協議会

市町村社協

教育委員会

↑協力

高知県レクリエーション協会 市町村スポーツ推進委員会  
高知県障がい者スポーツ指導者協議会 高知県立障害者スポーツセンター

## A 障害者のスポーツ活動の発表の場の活性化を促進するとともに支援者も参加者として活動できる取組

### 高知県 社会福祉協議会

中村特別支援学校

県立障害者スポーツセンター

幡多陸上競技協会

地域の福祉施設

山田特別支援学校  
田野分校

### 取組内容

- \* 県東部地域でのフライングディスク記録会
- \* 県西部地域での障害者陸上競技教室(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
- \* 県西部地域での障害者陸上競技記録会(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)

### モデルづくりの視点

- \* 誰もが参加しやすい大会・教室となるための運営の工夫
- \* 情報発信の工夫
- \* 支える人材の確保
- \* 継続した取組になるための工夫

### 課題解決のための取組

- 陸上記録会において、障害の区分によらず個々の記録に応じた組み分けで競技を実施。
- 地域の特別支援学校から卒業生に対する情報提供や県社会福祉協議会のネットワークを活かした情報提供の実施。
- 地域の障がい者スポーツ指導員に記録会のスタッフとして参加を依頼。
- 継続的な参加につなげるため、希望に応じて参加者を登録。

### 成果

- フライングディスク記録会参加者数：9名
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、陸上記録会については、小学校や特別支援学級などからの参加が得られるなど、新たな参加も徐々に増え、障害の有無に関わらず誰もが参加できる記録会として定着し、多くの参加者が得られるようになっている。

### 今後の課題

- 継続に向けた財源確保。
- 地域の核となる人材の確保。
- 活動への支援ができる体制づくり。
- フライングディスク記録会の参加者の増加。

## B 放課後や休日等に運動を希望する生徒や障害者福祉施設の入所者等を主なターゲットとして、地域のスポーツ施設等を活用する取組

NPO法人  
まほろばクラブ南国

山田特別支援学校

競技団体等

NPO法人こうなんスポーツクラブ

市町村社協

### 取組内容

- \* 日常的な運動部活動へ専門指導者等の派遣
- \* 休日や放課後を利用したスポーツ体験教室(新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止)
- \* 交流バドミントン大会(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
- \* 児童生徒や家族が参加できる多種目のスポーツ体験イベント(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)

### モデルづくりの視点

- \* 障害種別や障害の程度に合わせた指導ができる地域指導者の育成
- \* 支える人材の確保
- \* 総合型地域スポーツクラブの活動や各取組についての地域住民への周知
- \* 放課後や休日の活動を希望する生徒の運動時間の確保

### 課題解決のための取組

- 指導者やコーディネートできる人材の掘り起こしを見据えて、近隣の総合型地域スポーツクラブや関係団体と連携して企画。
- 地域の特別支援学校や障害者福祉施設と連携した事業の展開。
- 南国市のイベントと合同で開催。
- 参加者に総合型地域スポーツクラブの活動やイベントを周知。

### 成果

- 休日や放課後を利用したスポーツ体験教室の参加者数：2箇所 3回 23名
- 日常的な運動部活動へのバレーボール専門指導者等の派遣
  - ・ 各取組の参加者が、この事業の活動を通して、高知県障害者スポーツ大会で好成績を残せるようにレベルアップしようとする意欲の高まりが見られた。
  - ・ 地域の障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員に協力を得て取組を実施することができた。

### 今後の課題

- コロナ禍での取組の継続。
- 活動の実施時間と専門指導者の指導可能な時間のマッチング。
- 総合型地域スポーツクラブが実施する既存のスポーツ活動への継続的な参加。

## C 特別支援学校の在校生や卒業生、障害者福祉施設の入所者を主なターゲットとした取組や障害者スポーツの理解啓発の取組

### NPO法人 クラブとさ

日高特別支援学校

高知若草特別支援学校

地域の福祉施設

市町村社協

### 取組内容

- \* 障害者福祉施設の空きスペースを活用したスポーツ体験教室
- \* 休日や放課後を活用したスポーツ体験教室
- \* 障害当事者以外に対する障害者スポーツ体験教室
- \* 学校行事を活用したスポーツ体験教室(新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止)

### モデルづくりの視点

- \* 学校の児童生徒や卒業生、施設入所者が参加しやすい運営の工夫
- \* 支える人材の確保
- \* 総合型地域スポーツクラブの活動や各取組についての地域住民への周知
- \* 総合型地域スポーツクラブが実施する既存の活動への参加につながる工夫

### 課題解決のための取組

- 保護者が感じている課題を収集し、その課題解決を目指した取組の展開。
- 身体障害者協議会やスポーツ推進委員に協力を求めて取組を展開。
- 障害者福祉施設での取組において、楽しく活動できる種目と競技性のある種目を設定するなど、目標が意識しやすい活動を提供。
- 学校と連携し総合型地域スポーツクラブの活動を周知。

### 成果

- 障害者福祉施設の空きスペースを活用したスポーツ体験教室の参加者：2施設 3回 28名
- 休日や放課後を活用したスポーツ体験教室の参加者数：6箇所 14回 189名
- 障害当事者以外を対象とした障害者スポーツ体験教室参加者数：25名
  - ・ 今後のスポーツ活動につながるきっかけづくりとなった。
  - ・ 地域の方がボランティアで指導をしてくれたことにより、円滑に取組が進められるとともに、障害者の理解啓発につながった。
  - ・ 参加者が技能の高まりを感じ、スポーツに対する意識の高まりにつながった。

### 今後の課題

- コロナ禍での取組の継続。
- 障がい者スポーツ指導員の資格を有するスポーツ推進委員の増加。
- 障害についての理解や状況に応じた対応などを学ぶ機会の拡充。
- 総合型地域スポーツクラブが実施する既存のスポーツ活動への継続的な参加。

## D 特別支援学校の在校生や卒業生、障害者福祉施設の入所者を主なターゲットとした取組や障害者スポーツの理解啓発の取組

NPO法人  
くぼかわスポーツクラブ

地域の福祉施設

町のボランティア協議会

市町村社協

教育委員会

### 取組内容

- \* 各種スポーツ体験教室発表会
- \* 関係者を対象とした障害者スポーツ種目の指導者講習会
- \* 地域の障害者福祉施設でのスポーツ体験教室(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)
- \* 障害者福祉施設入所者と地域住民と一緒に体験できるスポーツ交流大会(新型コロナウイルス感染症の影響で中止)

### モデルづくりの視点

- \* 施設入所者が参加しやすい運営の工夫
- \* 支える人材の確保
- \* 総合型地域スポーツクラブの活動や各取組についての地域住民への周知
- \* 総合型地域スポーツクラブが実施する既存の活動への参加につながる工夫

### 課題解決のための取組

- 地域におけるパラスポーツの普及・理解促進に向けて広報誌やケーブルテレビを活用。
- 障害者福祉施設において多くの参加が得られるよう、施設のスケジュールを考慮した日程の調整。
- 外部指導者に代わり障害者施設職員が指導できるよう展開。
- 誰もが取り組みやすいボッチャ競技の講習会による指導者の育成。

### 成果

- 障害者福祉施設でのスポーツ体験教室の参加者数：1カ所 3回 34名
- 指導者講習会の参加者数：11名（2回開催）
  - ・ 障害者福祉施設でのスポーツ体験教室では、作業所勤務の職員全員の参加が得られた。また、参加者からは、今後も参加したいとの肯定的な感想が多数得られた。
  - ・ ボランティア協会の方からは、この取組に参加し改めてスポーツの良さを実感できたとの意見をいただいた。
  - ・ スポーツ教室には地域のスポーツ推進委員や役員職員の参加が得られた。
  - ・ ボッチャ競技の講習会では、福祉施設職員や役員職員の参加が得られ、施設や他の機会を活用したいとの意見をいただいた。

### 今後の課題

- コロナ禍での取組の継続。
- より多くの方が参加しやすい取組実施時間の検討。
- 総合型地域スポーツクラブが実施する既存のスポーツ活動への継続的な参加及び参加するための移動手手段の確保。

## まとめ

### 成果

- 新たなスポーツ機会の提供により、学校や施設での活動以外に地域でスポーツ活動を行うことがあまり無かった方々のスポーツ参加につながった。
- 各取組において多くの関係者の協力を得て展開できたことにより、それぞれの活動の充実が図られるとともに、支援者の増加、関係者の連携の広がり、障害者及び障害者スポーツの理解の深まりにつながった。
- 本事業をきっかけに連携した関係者により、本事業以外の自主的な取組として新たな展開につながった。

### 今後の課題

- 本事業で展開した各取組の継続及び普及に向けた、財源の確保や関係者のネットワークのさらなる強化。
- 障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員など多くの支援者に協力をいただいたが、今後さらに障害者のスポーツ活動の充実を図るためには、指導者やボランティアなどの支援者の確保が必要。
- 障害者のスポーツ活動のさらなる充実を図るためには、地域地域において障がい者スポーツ指導員の資格取得者を増やし、活躍できる機会を拡充することが必要。

**【連絡先】**

〒780-0850

高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号

高知県庁西庁舎

高知県文化生活スポーツ部

スポーツ課

主幹 北 敬二郎

電話：088-821-4649

FAX：088-821-4716

e-mail：[keijirou\\_kita@ken4.pref.kochi.lg.jp](mailto:keijirou_kita@ken4.pref.kochi.lg.jp)